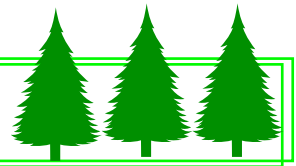




# みつぎ便り



第175号 4月号 令和3年4月1日発行 [http://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコボリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



## 目を覚ましたチューリップ姫

バス通り沿いにある丸い花壇脇にビヨウヤナギやツツジが繁っています。その後ろに隠れるように葉を伸ばしている植物があります。昨年、初めて小さな花を付け、今年も二輪ほど花をつけました。

バレリーナというチューリップで実は平成二十六年秋に植えたものです。その名の通りスッキリとした美しい姿で咲いて、公園を訪れた人々の目を楽しませてくれました。花が終わり球根類を保存した時に、他の球根と混ざってしまい、翌年にこの場所に植えたのでしょう。そして花が咲かないまま、忘れさられていました。

それが長い間、本当に長い間、六年も休眠して小さな花を咲かせたのです。残念な事にモミジの木の根元にあり、他の低木に邪魔をされ、その上、開花期間が短いので、中々、皆さんに見ていただけないかもしれません。本当に残念です。

見次の会の活動目的「生き物すべ

てが共存できる」の大切な心を、このチューリップがそっと教えてくれているのかも知れません。

コロナ禍で気持ちの晴れない日が続きますが、可愛い花のお姫様や小鳥となって訪れる王子様を探して、見次公園を散歩してみたいかがでしようか。  
(静)



## ムラサキケマン

四月の訪れと共にようやく草花が咲く季節になり、見次公園もすっかり春の景色になりました。そんな中



今回は、ムラサキケマンを紹介します。

日本全土のやや湿ったところに生えているケシ科の二年草です。見次公園では毎年四〜六月にポート小屋の裏側の斜面に群生します。全体が二十センチほどの丈で、紅紫色で筒状の花を咲かせます。名前にあるケマン(華鬘)とは飾り仏具のことで金銅や牛革製の円形のもので房状にして金物や鈴を垂らすものです。

美しく妖艶な花の姿の反面、ケシ科の有毒植物なので絶対に口に入れないでください。  
(昭)